

■市が実施する予防接種の標準的なスケジュール例

丸囲み数字（①、②など）は、ワクチンの種類毎に接種の回数と、標準的な接種時期の例を示しています。

丸囲み数字間に矢印があるものは、接種間隔を誤りやすいので、特にご注意ください。

塗りつぶし部分以外は、定期接種の対象外の年齢です（特例の対象者を除く）。

種類	ワクチン	乳児期										幼児期						学童期～											
		6週0日後	2ヶ月	3ヶ月	14週6日後	4ヶ月	5ヶ月	24週0日後	6ヶ月	7ヶ月	32週0日後	8ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	17ヶ月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳		
定期接種	ロタウイルス (ロタリックス)		①	②	※											※ロタウイルスの予防接種はどちらの場合も、1回目は出生14週6日後までに行い、2回目以降は同一のワクチンを接種してください。													
	ロタウイルス (ロタテック)		①	②	※	③																							
	ヒブ(Hib) ※注1		①	②		③	7～13月の間隔					④																	
	小児用肺炎球菌 ※注1		①	②		③	60日以上の間隔					④																	
	B型肝炎 ※注2		①	②	139日以上の間隔			③																					
	四種混合 (DPT-IPV)		①	②	③	12～18月の間隔							④																
	BCG				①																								
	麻しん・風しん (MR)											①						② (年長児)											
	水痘(水ぼうそう) ※注3											①		②															
	日本脳炎 ※注4																	① ②		③		④9～12歳 (2期)							
	二種混合(DT)																									①11～12歳 (2期)			
	子宮頸がん(HPV) ※注5																									小学6年生 ～高校1年生 ①②③			
任意接種	インフルエンザ											毎年①、②(中学生は①) (10月～2月)																	